

N. danmoshapan

ほぼ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどうした事でしょう?」)

営業車の買い替えを検討中!

本年三月末に車検を迎える車があり、買い替えを検討しております。手放すこの車はトヨタヴィッツで平成十八年初登録です(十五年前?)弊社には同じ車種がもう一台あるので、この車を使用する頻度が少ないのかも知れませんか?どちらかと言えば軽トラの方が業務的にも活躍している状況です。近年、仕事内容が以前とは変わってきており、看板資材やパネルなど大きめの商品を扱う事も多くなりました。維持費&燃費を考え軽のワンボックスがいいのでは?と思い、先週中古車センターなどを見て回りました。



しかし、軽ワンボックス中古車は予想以上に価格が高く?年数がたっても価格が落ちず、商用タイプは乗り潰す人が多いので市場に出る数が



少ないなどと聞きました。友人や周りのアドバイスで徐々に車種が絞られてきました。が、今の所と軽ワンボックス車は、新車に近い新しい車の方がお得なような気がしています。

その後、今後を見据えた一台に目星をつけ、助手席から後ろまで完全なフラットになりビックリ、燃費もリッター当たり20キロと二度ビックリ!知人のS氏はこの車種を絶賛し、超お勧めと言っています。荷物の出し入れもスムーズで、助手席のドアは90度開きます。フラットな床はベッドにもなりアウトドア派の方には良いと思います。超!前向きに検討中です。(等)

発行 有限会社ナツブ
編集責任 中田 等
発行日 令和三年四月
問合せ先 〇九八五五二七四〇九

近郊ドライブ

だいぶん暖かくなってきた、桜の季節になってきました!今までコロナ禍でステイホームしていましたが、桜を見に行くの楽しみにしておりました。



目指すは観音さくらの里。桜のトンネルをくぐりに行きました。まだ7分咲きでしたが、ハラハラと落ちてくる花びらが、車のフロントガラスにあたって素晴らしい!頭の中では、ケツメイシの『さくら』が流れておりました。ヒュルリーラ ヒュルリーラ、さくらを堪能したら、人間お腹すきますよね。(笑)



次は野尻湖ピアに新しく出来た、NOJIRIKO CAFEへ!

昔バラ園だったところをイチゴ園に改装して、予約制ですが、いちご狩りも楽しめるそうです。私の目当てはカフェの看板メニュー『いちごクレープ』ですがね。(笑)



いちごクレープ五五〇円で、朝摘みイチゴがのって、ボリュームありました。やっぱりいちごが新鮮で、みずみずしくて、てげうめかったです!クレープを堪能していたら、朝摘みイチゴを買いにきた老夫婦がいました。『あの紙で巻いたイチゴがのってるのは美味しいとかね、お母さん』と、私のクレープを見てました。お父さんの気持ちを察したお母さん、店員のお姉さんに、『あのお兄さんが食べてるの二個頂戴』ほっこりしました。私が美味しそうに食べていたからですかね。(光)

ランチ野郎

見参!

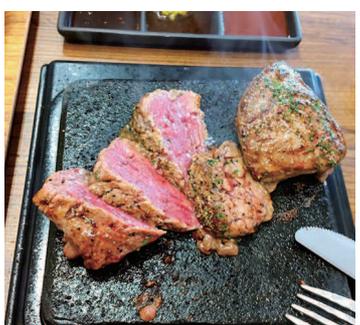
グリーンリッチホテル宮崎橋通2が二月末にグランドオープンし、二階のシーウエーブレストランのランチに行ってみました。



ランチは、百五十グラムの溶岩焼きステーキランチ千二百円のみ。しかも今ならSNSに発信すると千円になるそうです。ランチにはバイキングもついており、小鉢、カレー、パン、デザート、ドリンクは珈琲に加え、デトックスウォーターもあります。ステーキが焼きあがるまでにバイキングコーナーで色々選んでみました。それらを頂



オープンしたばかりのホテルなので、あまり知られていないのかゆっくり楽しめました。なお、ホテルの駐車場は宿泊客専用みたく、有料駐車場を使わなくては行けないので気を付けてください。(大)



チヨースンの気になった話

「ユニクロの気にならない服とグローバル化」編

先日見たニュースで、ユニクロの柳井社長のインタビューが流れ、コロナ禍の影響を踏まえたテーマがあり、これからの服とはどんなものなのか？という問いに、柳井さんは「気にしなくて着られる服」だと答えた。今までは「服への思い入れが過剰に強いのか、ほとんど関心がないか、人に合わせる事がほとんど。今後は一人一人、別々に変わった服を着るのではなく、いちばん『気にならない服』を着るようになるんじゃないか」と。また、「コロナで本当に分かったことは、世界はつながっているということ。サプライチェーンが一時停止したとしてもそれは一時的なことなので、長い目で見たらグローバル化が重要。世界中でいちばんいいところで作って、いちばん価値があるものを作る。日本が生き残る道だと思う」という話だった。

このインタビュを踏まえて徐々にユニクロで新作のウェアを購入してみた。商品レビューの多くは、「リモートワークで部屋で長時間着ても快適。ワンマイルウェアと

しても問題ない」というもの。まさに代表の意向が形になったものという印象を肌で感じることが出来た。グローバル化については少し古い経験だが、フランス・シンガポールそして銀座のユニクロに出張や旅行の際に訪問したことがある。日本と同じ品質のものが本場に世界で受け入れられていることを体感&感動。銀座は当時インバウンド真っ只中で、日本人よりも外国人のお客様が多く、数カ国語に対応できるスタッフが充実していて、今思い返すと未来の日本の形のひとつがあったのだと思う。

最後に、最近の私はSNSを使って開発のヒント探しとして海外のデザインを見る様にしていく。翻訳機能などを使い日本語化してデザイナーのコンセプトを読んだり、または原文から意味を見直してみたり。コロナ禍が落ち着いたら、また現地に飛んで海外の売り場や展示会に行きたい。その時には以前よりグローバル化した自分でもっと広く深く世界を吸収できるようにしておきたい。

(帖)

いんちきクワイマーが行く！

「尾鈴山の滝めぐり」編

尾鈴山に向かうには、国道10号線を北上し、川南町のAコープ先の歩道橋の交差点を左折。あとは道なりにひたすら真っすぐ、クネクネ道を登り、尾鈴キャンプ場から先は悪路の林道になるので、キャンプ場の駐車場に車をとめる。山頂への登山口はここから荒れた林道を徒歩で4キロほど登った先に。軽トラや、四駆車ならば20分も運転すれば到着です。

山頂を目指すのもそれなりに達成感があつてよいのですが、木々に覆われていて眺望はよくありません。なので、今回は山頂を踏まない「滝めぐり」についての紹介。尾鈴山の名貫川は巨石奇岩に富み、矢研の滝をはじめ三十余りの滝があり、「尾鈴瀑布群」として国の名勝に指定されています。シャクナゲ、アケボノツツジが群生し、キバナノツキヌキホトトギスという地球上ここにしか群生しない山野草があります。

山から都農駅まで降ろすのが産業だったようで、当時の名残のトロツコ道が残っています。レールのなくなつたトロツコ道を四キロほど歩きつ、沢山の滝を見て歩くトレイル（九州自然歩道）となっています。

終点の滝は「白滝」とよばれる、落差70メートルの雄大な滝。ここまでの約四キロの行程、街中の平地ならば四キロは一時間もかかりませんが、

山道なので二時間程度はかかると思いますが。自然のど真ん中、シカ、タヌキ、ヤマドリ、そして時にはイノシシやマムシも。九州自然歩道トレイルとはいえ、しっかりとした装備で歩かないと怖い目にあうかもよ。

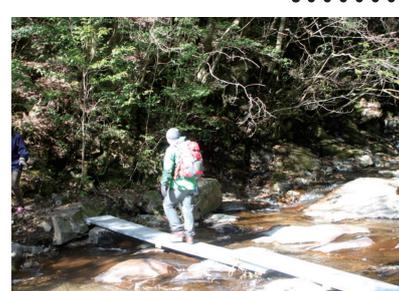
道幅は2〜3メートルありますので、道迷いの心配はないと思います。尾鈴山は木々がうっそうと茂り、一年中湿度の高い山なので、なるべく晴れた日を選ぶと、快適に歩けます。一度チャレンジして、楽しんでください。



トレイルにある柱の大木



落差70メートルの白滝



渡渉地点もあって楽しい。

編集後記

先週からお腹の張を感じていました。そういえば？昨年の半日ドックで胃の内視鏡検査を勧められていたのを思い出し、早速近くの病院へ行き胃カメラの手配をしました。還暦を過ぎて早二年！健康寿命が70年とすると？残りの人生（時間）は……と考えてしまいます。でもこう考えるのは、悲観的な事だとは思っていません！体の不具合を感じた時は、「残りの限られた時間をどう有意義に過ごす事が出来るか？」を考える良い機会だと思ってしまうようにしています。生まれての赤ちゃんの健康寿命は70年しかありませんよネ！課題を先送りしないで、無理なく大切に一日を生きていこうと思つています。

(等)

